

会社情報

会社概要

2015年6月30日現在

商号	ホシザキ電機株式会社 (HOSHIZAKI ELECTRIC CO.,LTD.)
所在	本社 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3-16 (代表電話) 0562-97-2111
設立	昭和22(1947)年2月5日
市場	平成20年12月10日：東京証券取引所市場第一部 並びに名古屋証券取引所市場第一部
資本金	79億81百万円
事業内容	全自動製氷機、業務用冷凍冷蔵庫、 業務用食器洗浄機をはじめとする各種フードサービス 機器の研究開発及び製造販売
決算	12月31日
従業員数	(連結) 12,504名 (単体) 1,193名
連結子会社	国内17社 海外38社(合計55社)

役員

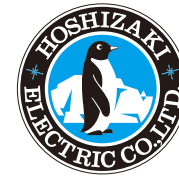
2015年6月30日現在

代表取締役社長	坂本 精志	取締役	小倉 大造
専務取締役	浦田 康博	取締役	尾崎 司
常務取締役	本郷 正己	取締役	恒松 孝一
常務取締役	川井 秀樹	取締役	落合 伸一
取締役	小川 恵士郎	常勤監査役	北垣戸 弘充
取締役	丸山 暁	監査役	小野田 誓
取締役	小林 靖浩	監査役	南舘 欣也

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



株主・投資家の皆さまへ

ホシザキグループ
報告書

第70期 第2四半期累計期間 (2015年1月1日～6月30日)



ホシザキ電機株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3-16 総務部総務課
TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427

証券コード：6465

トップメッセージ



■ 代表取締役会長兼社長
坂本 精志

売上高・営業利益ともに過去最高の更新を目指し、“世界No.1”へ邁進してまいります。

存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

経営姿勢

- 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- 透明性のある経営議論のできる経営の実践
- 事業活動と環境との調和働きやすい職場環境の実現

「良い製品は良い環境から」

当第2四半期の業績

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内景気が緩やかな回復基調となり、海外では米国景気が堅調に推移し、総じて良好な状況で推移しました。

そうした中、国内では、既存顧客への一層の販売促進と新規顧客への積極的な販路拡大に努め、海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業の設備投資が好調に推移したことを背景に、主力製品の拡販に努めました。

また、利益確保に向けた継続的な取り組みとして、原価低減、ITを活用した業務効率化、生産性向上等に努めました。

これらの結果、当第2四半期の連結業績は、当初予想を大幅に上回り、売上高が前年同期比11.5%の増収、営業利益が同17.1%の増益、経常利益が同30.5%の増益、四半期純利益が同29.0%の増益となり、増収増益基調を持続しております。

中長期戦略

当社グループは、フードサービス産業において「グループ売上高 世界No.1」となることを目標に掲げ、その実現に向け一丸となって取り組んでおります。

製品については、数年前に“世界No.1”となった製氷機に続き、業務用冷蔵庫についても今年、中国の業務用冷蔵庫メーカーである浙江愛雪制冷電器有限公司を買収し、台数ベースでは“世界No.1”を実現する見込みです。さらに、各国・各地域においても“シェアNo.1”を実現することで、“真の世界No.1”を目指しております。その結果として、当社グループは、フードサービス産業において「グループ売上高 世界No.1」を確立していきたいと考えております。

こうした中、当社グループは2010年に5か年の経営計画「2015年 経営ビジョン」を策定し、2015年度の目標として売上高2,200億円、営業利益200億円、営業利益率9.0%を掲げておりましたが、前期(2014年度)にこの目標を大幅に超

え、1年前倒しでの達成となりました。そして、同計画の最終年度である当期(2015年度)は、前期をさらに上回る業績を予想(2015年7月27日に上方修正予想を公表)しております。当社グループは、こうした業績動向と今後の事業環境の見通しを勘案しながら、現在、次の経営計画である「2020年 経営ビジョン」を策定中でございます。

具体的な戦略と進捗状況

この“世界No.1”実現に向け、世界のマーケット環境に依りて、異なる戦略を展開しております。

国内において当社グループは、2番手以降を大きく引き離しNo.1の地位を確立しております。主な市場であるフードサービス産業は成熟化が進み、依然競争環境も厳しいため、従来のハードビジネスのみでは大きな成長は期待できず、ハードビジネスを効果的にサポートするソフトビジネスを積極的に強化していきます。従来から進めている、コンサル営業、自社製品に加えて他社製品の保守・修理まで行うテクニカルサポート、厨房の衛生管理まで提案するサプライ(洗剤、お茶等販売)等が確実に成果を上げつつあります。また、人手不足が恒常化する中、確実に優秀な人材を確保するために、ワークライフバランスを推進強化していきます。その一環として、各社において「早帰り推進活動」を積極的に進めています。

一方、海外は、北米の製氷機事業の市場シェアが30%を超え、トップ企業(Manitowoc社)に迫るものの、その他地域、及び業務用冷蔵庫事業については、当社グループにとって巨大な“未開拓のマーケット”が存在します。これまでの海外売上高の成長は、主に米国での取り組みが結実してきたためですが、今後は、欧州、アジア圏においても積極的に市場開拓を進めていきます。欧州においては、既存の2社(ホシザキヨーロッパ及びグラムコマーシャル社)の販売機能を統合し、より強力に市場開拓ができる体制整備を進めております。また、アジア圏については、2013年1月に買収したインドのウエスタン社の業績が好調で、今年2月に設立したHOSHIZAKI(THAILAND)LIMITEDに加え、今後マレーシア、ベトナム、フィリピン等主要各国への現地法人の設立を目指しています。さらに、6月には、中国にて業務用冷蔵庫等の開発、製造、販売を行う浙江愛雪制冷電器有限公司を買収いたしました。同社製品は中国市場において既に高いプレゼンスを有しており、今後、生産性の改善、製品品質の向上を行うことで、中国及び東南アジア市場のボリュームゾーンを積極的に開拓していきます。

世界における競争環境は激しさを増す中、“世界No.1”という確かな未来への礎を築くためにも、全グループ会社一丸となって邁進してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

ホシザキグループが目指す「中長期戦略」

製品

- 製氷機で**世界No.1**を維持
- 業務用冷蔵庫で**世界No.1**を達成
※いずれも、販売台数ベース

エリア

- 各国及び各地域で**シェアNo.1**
 - ・米国での製氷機シェアNo.1
 - ・アジアを中心に販売拠点を拡充

総合

業務用厨房機器業界において、「**グループ売上高 世界No.1**」を達成

インフォメーション & トピックス

アジアにおける拠点拡充により、さらに盤石な体制のもと、

“世界No.1” に邁進しております。

海外

戦略的 M&A の活用、中国において浙江愛雪制冷電器有限公司が新たに子会社に加わりました。

アジア地域における拠点の拡大
※直近3年間のみを社名表示

浙江愛雪制冷電器有限公司

- 所在地: 中国浙江省徳清県
- 事業の特徴: 業務用冷凍冷蔵庫、ショーケース、製氷機、医療用冷凍庫等の開発・製造・販売
- 開発・生産・販売拠点: 中国国内



愛雪社の主力商品

ウエスタン社 (インド)
(2013年1月子会社化)

ホシザキ韓国
(2013年1月設立)

浙江愛雪制冷電器有限公司
(2015年6月子会社化)

ホシザキタイランド
(2015年2月設立)

ホシザキインドネシア
(2014年2月設立)



浙江愛雪制冷電器有限公司

今期末には冷蔵庫でも世界シェアNo.1となる見込みです。

当社グループは、フードサービス産業において「グループ売上高 世界No.1」を確立していきたいと考えており、“未開拓のマーケット”である欧州、アジア圏においても今後は積極的に市場開拓を進めていきます。

愛雪社は、業務用冷蔵庫及び業務用製氷機の開発・生産・販売拠点を中国国内に有し、ボリュームゾーンをターゲットとした低コスト製品の品揃えと生産体制、及び中国主要市場を網羅する販売チャネルを強みとしている、成長性、収益性ともに優れた企業です。この愛雪社が加わったことで製氷機だけでなく冷蔵庫でも今期末には販売台数で世界一となる見込みです。

国内

国内では、飲食店を中心とした既存市場の深掘りに加え、新規市場の開拓にも注力し、ともに着実な成果を獲得しています。

国内初、入院患者の症状に合わせた病院食を提供できるシステムを、藤田保健衛生大学病院様が開発しました。このシステムを支えているのが、当社の再加熱カートです。同大学病院様に採用いただいた再加熱カートは、共同開発した独自のプログラムを採用しており、味の劣化を抑え、できたての状態でお客様に食事を提供できるようになりました。

当社は今後も、製販一体となってお客様の課題解決に向けてご提案を積極的に進めてまいります。



再加熱カート (※写真は標準仕様)



藤田保健衛生大学病院様 (愛知県豊明市)



「仕事と生活との調和」の実現に向けて取り組んでいます。

当社グループでは、「仕事と生活との調和(ワークライフバランス)」に向けた取り組みを強化するなか、販売会社のホシザキ東北が国内で初めて「プラチナくるみん」企業として認定を受けました。

「プラチナくるみん」とは、次世代育成支援対策推進法に基づいて、子育てサポート企業として「くるみん」認定を受けた企業のうち、さらに高い水準で継続的に取り組んでいる企業に対して、厚生労働大臣が認定する制度です。

世界各地におけるホシザキグループの主な商品

米州の主な商品



ホシザキアメリカ

ランサー社

ジャクソン社

欧州の主な商品



ホシザキヨーロッパ

グラム社

アジアの主な商品



星崎電機 (蘇州)

ウエスタン社

国内の主な商品



製氷機や業務用冷蔵庫、食器洗浄機等の主力商品に加え、スチームコンベクションオープン等の戦略商品を開発し、新たなマーケットの創造に取り組んでいます。

連結財務ハイライト

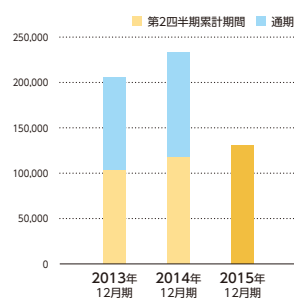
連結財務ハイライト

(単位：百万円)

	2013年12月期		2014年12月期		2015年12月期
	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間
売上高	100,562	205,513	117,500	233,252	130,962
営業利益	10,524	20,052	15,275	26,984	17,893
経常利益	13,883	26,349	14,610	31,235	19,072
当期純利益	7,975	15,769	8,819	15,011	11,377
純資産	136,749	146,930	152,213	164,533	172,942
総資産	227,274	232,982	249,916	256,412	280,179

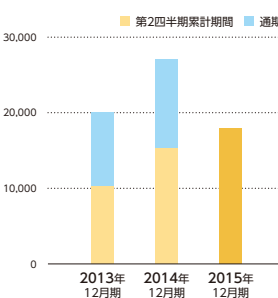
売上高

(単位：百万円)



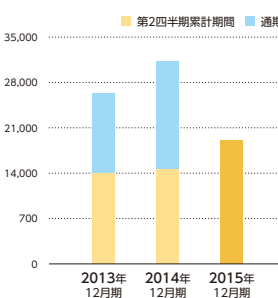
営業利益

(単位：百万円)



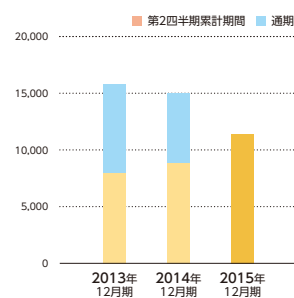
経常利益

(単位：百万円)



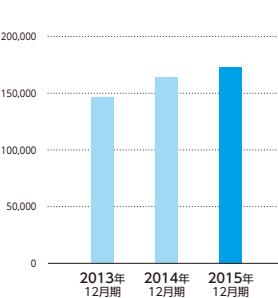
当期純利益

(単位：百万円)



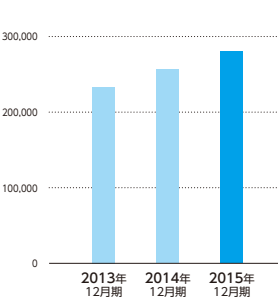
純資産

(単位：百万円)



総資産

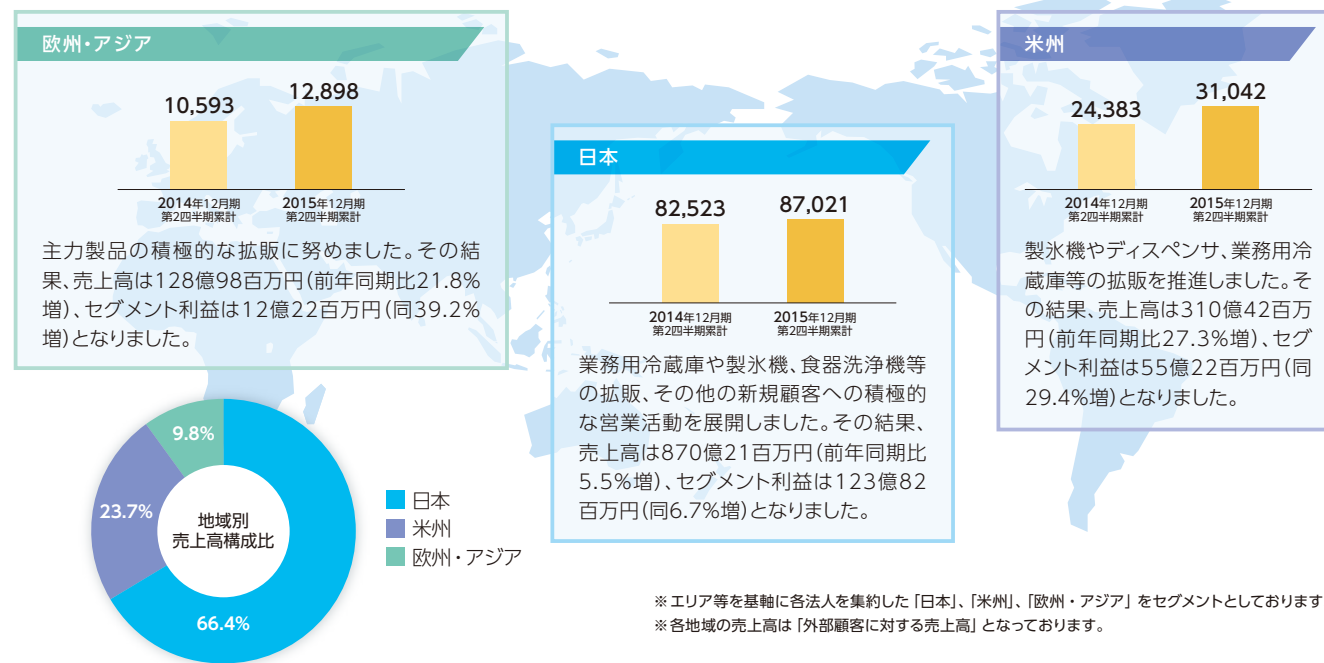
(単位：百万円)



連結セグメント情報

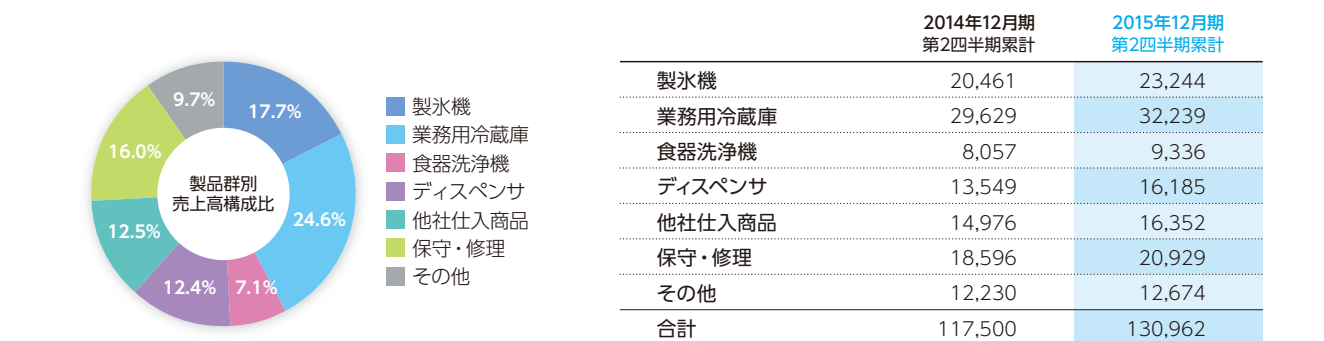
地域別売上高

(単位：百万円)



製品別売上高

(単位：百万円)



※エリア等を基軸に各法人を集約した「日本」、「米州」、「欧州・アジア」をセグメントとしております。
※各地域の売上高は「外部顧客に対する売上高」となっております。

営業概況

事業環境

当第2四半期連結累計期間における国内の経済環境は、政府の経済政策等の効果により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、個人消費は昨年の消費税率引き上げ以降、低迷が続いていましたが、所得環境の改善傾向により、持ち直しの兆しがみられるようになりました。

海外では、米国の景気は堅調、欧州はギリシャの債務問題の懸念が残るものの景気が着実に回復する一方、新興国においては中国の経済成長が一段と緩やかになり、依然として不透明な状況で推移しました。

業績・成果

このような環境のなか、当社グループは、国内では、フードサービス産業を始めとする既存顧客への販売促進と新規顧客への販路拡大に努めた結果、前年同期を上回る売上高となりました。海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業において、設備投資が好調に推移したことを背景に、主力製品の拡販に努めました。さらに、グループをあげて、原価低減に加え、ITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,309億62百万円(前年同期比11.5%増)、営業利益178億93百万円(同17.1%増)、経常利益190億72百万円(同30.5%増)となりました。また、四半期純利益は、113億77百万円(同29.0%増)となりました。

連結財務諸表

1 流動資産

現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したことから、流動資産は前期末比222億5百万円増加し、2,124億84百万円となりました。

2 固定資産

のれんが減少した一方で、有形固定資産、投資その他の資産が増加したことから、固定資産は前期末比15億61百万円増加し、676億94百万円となりました。

3 資産合計

流動資産、固定資産ともに増加したことから、資産合計は前期末比237億67百万円増加し、2,801億79百万円となりました。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2015年6月30日現在	前期末 2014年12月31日現在	増減額
資産の部			
1 ▶ 流動資産	212,484	190,279	22,205
現金及び預金	139,598	131,029	8,569
受取手形及び売掛金	35,779	26,369	9,410
商品及び製品	12,231	11,010	1,221
仕掛品	3,512	3,569	△57
原材料及び貯蔵品	9,296	8,299	996
その他	12,201	10,115	2,086
貸倒引当金	△135	△115	△19
2 ▶ 固定資産	67,694	66,133	1,561
有形固定資産	45,069	43,334	1,734
無形固定資産	13,707	14,905	△1,198
のれん	6,634	6,895	△261
その他	7,072	8,009	△936
投資その他の資産	8,918	7,893	1,024
3 ▶ 資産合計	280,179	256,412	23,767

	当第2四半期末 2015年6月30日現在	前期末 2014年12月31日現在	増減額
負債の部			
流動負債	87,005	71,586	15,419
支払手形及び買掛金等	17,366	13,405	3,961
未払法人税等	8,297	3,985	4,311
賞与引当金	3,774	3,040	734
その他の引当金	1,425	1,218	207
その他	56,140	49,936	6,203
固定負債	20,231	20,293	△62
退職給付に係る負債	13,429	13,433	△3
その他の引当金	1,134	1,207	△72
その他	5,666	5,652	13
負債合計	107,236	91,879	15,357
純資産の部			
株主資本	165,250	157,423	7,827
資本金	7,981	7,948	33
資本剰余金	14,504	14,470	33
利益剰余金	142,765	135,005	7,760
自己株式	△1	△1	△0
その他の包括利益累計額	5,358	5,412	△54
その他有価証券評価差額金	260	182	77
為替換算調整勘定	4,862	5,010	△147
退職給付に係る調整累計額	234	219	15
少数株主持分	2,334	1,697	637
純資産合計	172,942	164,533	8,409
負債純資産合計	280,179	256,412	23,767

4 流動負債

支払手形及び買掛金、未払法人税等、賞与引当金が増加したことから、流動負債は前期末比154億19百万円増加し、870億5百万円となりました。

5 固定負債

退職給付に係る負債、その他の引当金が増加したことから、固定負債は前期末比62百万円減少し、202億31百万円となりました。

6 負債合計

固定負債が減少した一方で流動負債が増加したことから、負債合計は前期末比153億57百万円増加し、1,072億36百万円となりました。

7 純資産

為替換算調整勘定が減少した一方で、利益剰余金、少数株主持分が増加したことから、純資産は前期末比84億9百万円増加し、1,729億42百万円となりました。

連結財務諸表

連結損益計算書 (単位: 百万円)			
	当第2四半期累計期間 2015年1月1日～ 2015年6月30日	前第2四半期累計期間 2014年1月1日～ 2014年6月30日	増減額
売上高	130,962	117,500	13,461
売上原価	79,054	70,943	8,110
売上総利益	51,908	46,556	5,351
販売費及び一般管理費	34,014	31,281	2,733
営業利益	17,893	15,275	2,617
営業外収益	1,352	473	878
受取利息	219	196	23
受取配当金	19	8	10
為替差益	894	—	894
その他	219	268	△49
営業外費用	173	1,138	△965
支払利息	125	84	41
為替差損	—	1,006	△1,006
その他	47	47	0
経常利益	19,072	14,610	4,461
特別利益	45	5	40
固定資産売却益	45	5	40
特別損失	19	110	△90
固定資産売却損	7	31	△24
固定資産廃棄損	12	17	△4
減損損失	—	61	△61
その他	—	0	△0
税金等調整前四半期純利益	19,097	14,504	4,592
法人税、住民税及び事業税	10,389	8,611	1,778
法人税等調整額	△2,747	△2,955	208
法人税等合計	7,642	5,656	1,986
少数株主損益調整前四半期純利益	11,455	8,848	2,606
少数株主利益	77	28	49
四半期純利益	11,377	8,819	2,557

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)			
	当第2四半期累計期間 2015年1月1日～ 2015年6月30日	前第2四半期累計期間 2014年1月1日～ 2014年6月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,848	13,036	2,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,438	△18,522	11,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,757	△2,511	△1,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	△240	△255	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,412	△8,253	12,666
現金及び現金同等物の期首残高	51,769	52,710	△940
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,182	44,456	11,726

8 売上高
国内外の経済環境が全体として緩やかな回復基調で推移するなか、既存顧客への一層の販売促進と新規顧客への積極的な販路拡大に努めた結果、売上高は前年同期比11.5%増の1,309億62百万円となりました。

9 経常利益
増収効果に加え、原価低減、ITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努めた結果、経常利益は、前年同期比30.5%増の190億72百万円となりました。

10 四半期純利益
四半期純利益は前年同期比29.0%増の113億77百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動によるキャッシュ・フローは158億48百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(190億97百万円)、未払費用(69億42百万円)などによるものです。

12 投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動によるキャッシュ・フローは74億38百万円の支出となりました。これは主に、定期預金の預入による支出(929億30百万円)が定期預金の払戻による収入(896億73百万円)を上回ったこと、有形固定資産の取得による支出(27億51百万円)などによるものです。

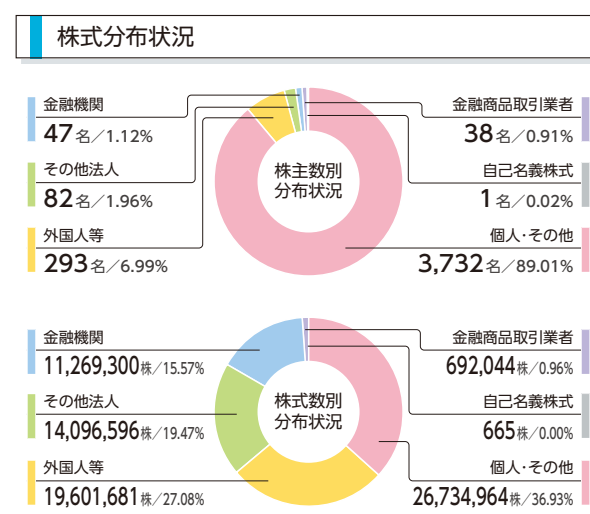
13 現金及び現金同等物の四半期末残高
営業活動によるキャッシュ・フローの収入増、投資活動によるキャッシュ・フローの収入減などの結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前年同期末に比べ117億26百万円増加し561億82百万円となりました。

株式関連情報 (2015年6月30日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	250,000,000 株
発行済株式の総数	72,395,250 株
株主数	4,193 名

大株主の状況		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社	6,203	8.57
公益財団法人ホシザキグリーン財団	5,800	8.01
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	3,501	4.84
ホシザキグループ社員持株会	3,241	4.48
真木 薫	1,757	2.43
真木 豊	1,707	2.36
稲森 美香	1,690	2.34
森井 純子	1,530	2.11
伊藤 由美	1,530	2.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,529	2.11

※持株比率は自己株式(665株)を控除して計算しております。



国内外ネットワーク (2015年6月30日現在)

- ホシザキ電機株式会社**
- 本社 / 愛知県 豊明市
 - 島根本社工場 / 島根県 雲南市
- 国内グループ会社**
- ホシザキ北海道株式会社 / 北海道 札幌市
 - ホシザキ東北株式会社 / 宮城県 仙台市
 - ホシザキ北関東株式会社 / 埼玉県 さいたま市
 - ホシザキ関東株式会社 / 東京都 文京区
 - ホシザキ東京株式会社 / 東京都 港区
 - ホシザキ湘南株式会社 / 神奈川県 横浜市
 - ホシザキ北信越株式会社 / 石川県 金沢市
 - ホシザキ東海株式会社 / 愛知県 名古屋市
 - ホシザキ京阪株式会社 / 大阪府 大阪市
 - ホシザキ阪神株式会社 / 大阪府 大阪市
 - ホシザキ中国株式会社 / 広島県 広島市
 - ホシザキ四国株式会社 / 香川県 高松市
 - ホシザキ九州株式会社 / 福岡県 福岡市
 - ホシザキ南九州株式会社 / 鹿児島県 鹿児島市
 - ホシザキ沖縄株式会社 / 沖縄県 那覇市
 - 株式会社ネスター / 愛知県 大府市
 - サンセイ電機株式会社 / 島根県 雲南市
- 海外グループ会社**
- HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC. / 米国
 - HOSHIZAKI AMERICA, INC. / 米国
 - HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
 - HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
 - HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
 - HOSHIZAKI NORTHCENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
 - HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
 - HOSHIZAKI NEW ENGLAND DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
 - Jackson WWS, Inc. / 米国
 - LANCER CORPORATION / 米国
 - ADVANCED BEVERAGE SOLUTIONS, LLC / 米国
 - LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE / メキシコ
 - INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE / メキシコ
 - SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V. / メキシコ
 - HOSHIZAKI LANCER PTY LTD / 豪州
 - HOSHIZAKI LANCER LIMITED / ニュージーランド
 - Lancer Europe N.V. / ベルギー
 - Aços Macom Indústria e Comércio Ltda. / ブラジル
 - Hoshizaki Europe Holdings B.V. / オランダ
 - HOSHIZAKI EUROPE LIMITED / 英国
 - Hoshizaki Europe B.V. / オランダ
 - GRAM COMMERCIAL A/S / デンマーク
 - GRAM UK LIMITED / 英国
 - Gram Deutschland GmbH / ドイツ
 - Gram Nederland B.V. / オランダ
 - Graminoks Sogutucu Sanayi ve Ticaret A.S. / トルコ
 - Western Refrigeration Private Limited / インド
 - Western Coolers and Freezers Private Limited / インド
 - HOSHIZAKI (THAILAND) LIMITED / タイ
 - HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD / シンガポール
 - PT. HOSHIZAKI INDONESIA / インドネシア
 - 星崎香港有限公司 / 香港
 - 浙江愛雪制冷電器有限公司 / 中国
 - 星崎(中国)投資有限公司 / 中国
 - 星崎冷熱機械(上海)有限公司 / 中国
 - 星崎電機(蘇州)有限公司 / 中国
 - 台湾星崎股份有限公司 / 台湾
 - Hoshizaki Korea Co., Ltd. / 韓国